

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービスきらめき					公表日 令和7年 9月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	共有スペースを分割して活動しています。	3階では遊びが1つにまとまらずにスペースを分割する時もあります。クールダウン・学習・活動と目的に合わせた空間の活用をさらに改善していきます。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	安心・安全のため職員配置は有資格者、児童指導員とスキルの高い職員を配置しています。	安心・安全確保のため待ち受けの職員を1~2名残れる体制作りが必要と感じています。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっているか。	8		聴覚支援を用いて一緒に片付けを行っています。		
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		2階、3階と2室あるので必要に応じて利用しております。		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		毎日の打合せでPDCAサイクルを活用し指導員が周知しています。	PDの後のCAで足りていない部分を工夫し改善を継続していきます。そのための全職員のスキルアップが必要です。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		今年度で6年目になりました。昨年続きアンケートを実施しました。	回答率をさらに上げ保護者の意向に留意していきます。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日の打合せを行い意見交換を行っています。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	月1回、会社独自の研修会を設けています。	外部研修への参加が多くないので外部研修へ行きやすい体制を整える必要があります。	
適切	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		毎年公表しています。		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		ケース会議を定期的に行い子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、検討しています。		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		日々の打合せの中で共有、確認しながら支援を行います。		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	日々の打合せの中で適応行動を共有し、確認しながら支援を行います。		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	個別支援計画の設定内容を踏まえながら効果的な支援方法を常に工夫しています。		

な 支 援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		月に二回から三回、療育会議を開催し活動プログラムを組み立てています。	活動プログラムを充実させるために児童の発達課題やニーズをさらに把握していきたいと思います。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		月に二回から三回、療育会議を開催し、プログラムが固定化しないように工夫しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		毎日、打合せを行い支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		共有し合う事を意識して取り入れている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		個別で行った日々の支援記録をその日の内に記録しています。	支援記録の書き方等を研修の項目に入れ、日々の支援の検証・改善につなげています。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年に一度定期的に行っています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		遊び等、複数定時し少し自己決定できる機会を設けてます。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		担当者や子どもの状況に精通した職員が参加するようにしています。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		必要に応じて連携してきたいと考えています。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		学校や保護者様と情報を共有し連絡調整を行っています。	送迎時、電話、LINE等、様々な方法で学校、保護者様と連絡・連携を密にしていきます。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8			新規利用者様に関して、契約時に就学支援シート等で可能な限り情報の共有に努めています。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		併設する障害福祉サービスへ移行した利用者様に情報の提供をしています。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	外遊びで公園に行ったときに交流の機会がありました。	地域の小規模保育園等と交流を考えていきたいと考えています。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	2		
	34 曰頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	1	連絡時には課題のみならず、よいところを必ず伝えるように心がけています。	送迎時、電話、LINE等、様々な機会を通じて、保護者様と連絡・連携をさらに密にし発達の状況や課題について共通理解を図っています。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	送迎時、利用者様の状況を伝える際に効果的だった具体的な支援方法や、言葉の掛け方などを伝えたり保護者様への支援を行っています。	マニュアルを使用してのペアレントトレーニングは行っていませんが、電話やLINE等、相談や質問を受け付け個々に支援を行います。
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	1	運営規程、支援の内容、利用者負担等については契約時に丁寧な説明を行っています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	1	モニタリングや送迎時、電話、LINE等、様々な機会を通じて、連絡・連携を図りこどもやご家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	1		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	保護者様が子育ての悩み等の相談をしやすい環境づくりに努めています。	保護者様から子育ての悩み等に対する相談に対して効果的だった具体的な支援方法や言葉の掛け方など助言・支援を行っています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		昨年度に引き続き開催いたします。またイベント等で保護者との交流の機会を設けたいと考えています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		報告・連絡・相談を常日頃から密に行うよう心がけています。	苦情やトラブルに関してはその日の内に職員間で共通理解し迅速に対応するように努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		毎月、月間活動予定を配布しています。活動の様子はホームページのブログで発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		写真使用に関して承諾書を提出いただき、個々の条件によって対応しています。	個人情報の取り扱いについては保護者様に契約時に説明させていただいた上、記名、捺印いただいております。職員に対しても採用時に誓約書を作成し同意いただいています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		視覚支援や聴覚支援を用いて情報伝達をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		地域を招待する取り組みを開催できればと考えています。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等、保護者にも周知していきたいと考えています。
非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		年に2回行うよう活動計画にも入れています。	定期的な避難計画を作成し定期的に避難訓練を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	契約時に確認しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	契約時に確認しております。	現在、対応の必要のある児童はありません。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		研修会で共通理解を図っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		毎日、打合せを行い、報告・連絡・相談を常日頃から密に行うよう心がけています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		月1回の研修会の他に必要に応じて会議を設けています。	研修を通して共通理解を図り、利用者様に對して丁寧な対応を心がけています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		やむを得ず一時的に身体拘束を行う場合について、保護者様には契約時に説明をしております。	員間ではやむを得ず一時的拘束をする場合について、日々の支援を振り返り、隨時、共通理解を図っています。